①大学（薬・香川薬以外）

② 入試区分

Ⅰ期A日程

③ 出題科目

世界史探究

④ 出題の意図

特定の時代や分野に偏らず、通史的に基本事項の理解を確認することを、出題の基本方針とした。
この観点から幅広く古代・中世・近世・近代について、重要な基本事項を出題（問題Ⅰ～Ⅳ）し、加えて、別途文化史分野（問題Ⅴ）を設定した。
また、今日必要とされる世界史的な視野から列島社会の変遷を捉える視点を重視し、とくに古代（問題Ⅰ）と近代（問題Ⅳ）では、この観点で作問した。古代では3世紀および6～7世紀の対外交渉と列島政治史の深い関係を取り上げた。また近代では同じ観点から幕末に締結した不平等条約を取り上げ、その内容とそれの克服に至る過程を軸に出題した。

世界史探究

Ⅰ　次の文の空欄（１～20）に適切な語句を入れて文を完成せよ。語句は下の【語句欄】から選べ。

ロシアでは第一次世界大戦中の1917年３月，前線での敗退と食料危機を背景に，首都（　1　）で労働者と兵士が反乱をおこすと，皇帝（　2　）（1894-1917在位）は退位し，帝政は倒れた。自由主義者が主導する臨時政府は，言論の自由などの改革を実行する一方，戦争を継続した。これに対して，社会主義政党のメンシェヴィキやエスエルを中心に，労働者や兵士からなる（　3　）が各地に組織され，民主的な条件で講和を実現するよう臨時政府に圧力をかけた。

４月，ボリシェヴィキの指導者（　4　）（1870-1924）が亡命先のスイスから帰国して四月テーゼを発表し，戦争の即時終結や臨時政府の打倒，社会主義政権の樹立をとなえると，労働者のあいだで支持を広めた。11月，（　4　）と（　5　）（1879-1940）に指導されたボリシェヴィキは，首都で武装蜂起をおこし，臨時政府を倒して史上初の社会主義政権を樹立した。この政権は，（　6　）により，無併合・無償金・民族自決の原則で即時に講和交渉を始めるよう交戦国に呼びかけたが，同盟国しか応じなかった。

翌18年３月，政権は広大な領土の放棄と多額の賠償金を条件に，同盟国と（　7　）条約を結んで講和し，（　8　）に首都を移して社会主義政策を断行した。しかし，旧ロシア軍の軍人や農民など諸勢力との内戦が始まった。社会主義革命の波及を恐れる協商国も軍隊を派遣して反政府勢力を支援した。これを（　9　）と呼ぶ。政権は（　10　）を創設して対抗した。

内戦中，（　4　）は（　11　）による一党独裁を確立した。経済面では計画経済を導入し，工業･銀行･貿易の国家管理を実現した。これを（　12　）と呼ぶ。21年初めまでに（　10　）は内戦を勝ちぬき，政権は旧ロシア帝国領の大半に支配を広げた。しかし，（　12　）に対する農民・労働者の抗議行動が広がったため，（　4　）は（　13　）を宣言して市場経済の導入に踏みきった。22年末には，内戦中に成立したウクライナ・ベラルーシ・ザカ

フカースの３つの共和国がロシアと結合することで，（　14　）が成立した。

24年に（　4　）が死去すると後継者争いがおこり，（　14　）の一国だけで社会主義建設は可能であるととなえる（　15　）(1878-1953) が，世界革命路線を主張する（　5　）を追放して，実権を握った。（　13　）により経済は回復したものの，市場経済のもとで失業者が増大し，加えて農民が国家に穀物を売り惜しむようになると，（　15　）は全面的な社会主義建設に踏みきり，28年に（　16　）を開始した。工業では工場建設や生産拡大，重工業化が推進された。農業では，農民は（　17　）と呼ばれる集団農場や，（　18　）と呼ばれる国営農場に強制的に編入されて機械化・集団化が進められ，低価格での穀物供出を義務づけられた。

（　14　）は計画経済を採用し，世界経済との結びつきも少なかったため，29年10月に世界経済の中心地であるアメリカ合衆国のウォール街のニューヨーク株式市場で株価が暴落したことからおこった（　19　）の打撃をさほど受けず，工業化に邁進し，資本主義諸国に強い印象を与えた。36年には信教の自由や民族間の平等など，民主的な内容を盛り込んだ（　20　）を制定した。しかし住民は低水準の生活環境に苦しみ，政治的自由もなかった。

【語句欄】

ニコライ２世　モスクワ　ケレンスキー　レーニン　ドゥーマ
ヴィルヘルム２世　「平和に関する布告」「土地に関する布告」
ソヴィエト　ロシア社会民主労働党　トロツキー　ヴェルサイユ
対ソ干渉戦争　白軍　ペトログラード　新経済政策　共産党
ソヴィエト社会主義共和国連邦　十一月革命戦争　ソフホーズ
戦時共産主義　世界恐慌　コミンテルン　コルホーズ
ブレスト＝リトフスク　第一次五カ年計画　スターリン憲法
ユダヤ人排斥　赤軍　スターリン　ヴァイマル憲法

Ⅱ　次の文章Ａ～Ｄを読み，問題に答えよ。

Ａ　４世紀後半，アジア系の（　１　）がドン川をこえて西進し，その地のゲルマン人を征服した。圧迫されたゲルマン人の一派である（　２　）は，375年に南下をはじめ，翌年にはドナウ川をわたって帝国領内に移住した。それをきっかけに，他のゲルマン民族も大規模な移動を開始し定住と移動を繰り返した。

Ｂ　726年，ビザンツ帝国（東ローマ帝国）の皇帝（　３　）は，偶像をきびしく否定するイスラーム教に対抗するために，（　４　）を発布した。しかし，ゲルマン人への布教のために聖像を必要とするローマ教会はこれに反発した。ローマ教皇レオ３世は，ビザンツ皇帝に対抗できる強力な政治勢力を求め，フランク王国に接近した。（　５　）が西ヨーロッパの主要部分を統一すると，教皇レオ３世はかれに皇帝の帝冠をあたえた。

Ｃ　東フランクでは，10世紀初めにそれまでの王の血統が絶えた。ザクセン家の（　６　）が，外圧を退け，北イタリアを制圧すると，かれは，962年に教皇からローマ皇帝の位をあたえられた。これが，（　７　）の始まりである。

Ｄ　聖職売買などの弊害が生じた教会を改革しようという運動が，フランス中東部のクリュニー修道院を中心におこると，教皇（　８　）はこの改革をおしすすめた。聖職者を任命する権利を教会にとりもどして教皇権を強化するこの改革に，皇帝（　９　）は反発した。皇帝は教皇に破門され，1077年皇帝はイタリアの（　10　）で教皇に謝罪せざるをえなくなった。

空欄（　１　）～（　10　）に，次の【語句欄】から正しい語句を選び，Ａ～Ｄの文章を完成せよ。

【語句欄】

ケルト人　スラヴ人　フン人　東ゴート人　西ゴート人
アングロ＝サクソン人　グレゴリウス１世　グレゴリウス７世
カール大帝　ハインリヒ４世　インノケンティウス３世　レオ３世
レオン３世　オットー１世　コンスタンティノープル　フィレンツェ
アヴィニョン　クレルモン　カノッサ　ヴェネツィア　ミラノ勅令
聖像禁止令　ナントの王令　両シチリア王国　ドイツ帝国
神聖ローマ帝国　キエフ公国

11　Ａの下線部の帝国とはなんという帝国か。名称を答えよ。

12　Ｂの下線部のような情勢のなかで，フランク王ピピンからローマ教皇に寄進された場所はどこか。場所の名称を答えよ。

13　Ｃの下線部の血統の王朝はなにか。王朝名を答えよ。

14　Ｄの下線部はなんという権限か。権限の名称を答えよ。

15　ウマイヤ朝はイベリア半島に進出し，西ゴート王国を滅ぼした。さて，この西ゴート王国滅亡と一番近い時期のことを述べているのは，Ａ～Ｄのどれか。Ａ～Ｄの記号で答えよ。

16　ササン朝のホスロー１世は，中央ユーラシアの遊牧民エフタルをトルコ系遊牧民突厥と組んで滅ぼし，東ローマ帝国との戦いも優勢に進め，和平を結んだ。さて，ホスロー１世の活躍した時期は，ＡとＢのあいだ，ＢとＣのあいだ，ＣとＤのあいだのどれか。「ＡとＢのあいだ」，「ＢとＣのあいだ」，「ＣとＤのあいだ」，のどれかで答えよ。

17　モンゴルのバトゥは，ワールシュタットの戦いでドイツとポーランドの連合軍を撃破し，ハンガリーにも侵攻した。さて，こうしたバトゥの西征と一番近い時期の出来事を述べているのは，A ～ D のどれか。A ～ D の記号で答えよ。

18　インドのグプタ朝では，仏教やジャイナ教が盛んであり，中国から仏の教えを求めて法顕が訪ねてきたりしている。さて，このグプタ朝が成立したのと一番近い時期の出来事を述べているのは，A ～ D のどれか。A ～ D の記号で答えよ。

19　朝鮮半島では，王建が高麗を建国した。さて，この建国の時期と一番近い時期の出来事を述べているのは，文章 A ～ D のどれか。A ～ D の記号で答えよ。

20　唐の玄宗は，農民からの徴兵をやめ，傭兵を用いる募兵制を採用し，辺境においた節度使に軍団を指揮させた。節度使は強大な力をもち，安史の乱と呼ばれる反乱をおこした。さて，この反乱がおきたのと一番近い時期のことを述べているのは，文章 A ～ D のどれか。A ～ D の記号で答えよ。

Ⅲ　次の問い（1～4）から一つを自由に選択して答えよ。ただし，選択した問いの番号を「選択した問いの番号」欄の丸かっこ内に明記し，解答は「解答欄」に必ず収めよ。

1　ユスティニアヌス大帝はなにをおこなった人物か。説明せよ。

2　永楽帝はなにをおこなった人物か。説明せよ。

3　コミンテルンとは何か。説明せよ。

4　「土地に関する布告」とは，どのような内容か。説明せよ。

理 工 学 部
人間生活学部
保健福祉学部　選択
総合政策学部
文　学　部

世界史探究

Ⅰ期A日程

Ⅰ

1	ペトログラード			2	ニコライ２世
3	ソヴィエト	4	レーニン	5	トロツキー
6	「平和に関する布告」				
7	ブレスト＝リトフスク				
8	モスクワ	9	対ソ干渉戦争	10	赤軍
11	共産党	12	戦時共産主義	13	新経済政策
14	ソヴィエト社会主義共和国連邦			15	スターリン
16	第一次五カ年計画			17	コルホーズ
18	ソフホーズ	19	世界恐慌	20	スターリン憲法

Ⅱ

1	フン人	2	西ゴート人	3	レオン３世
4	聖像禁止令	5	カール大帝	6	オットー １世
7	神聖ローマ帝国	8	グレゴリウス７世		
9	ハインリヒ４世	10	カノッサ	11	ローマ帝国
12	ラヴェンナ	13	カロリング朝	14	聖職叙任権
15	B	16	AとBのあいだ	17	D
18	A	19	C	20	B

Ⅲ

1	[例] コンスタンティノープルを首都とするビザンツ帝国（東ローマ帝国）の皇帝である。6世紀に活躍した。ローマ帝国の後継者として，北アフリカのヴァンダル王国，イタリアの東ゴート王国を滅ぼして地中海の支配を一時的に復活させた。ただし，西方のササン朝に対しては劣勢のなか和議を結んでいる。国内的には、『ローマ法大全』を編纂させ，ハギア＝ソフィア聖堂を建立するなど，文化事業にも力を注いだ。中国から養蚕技術を取り入れ，絹織物産業発展の基礎を築いた。

2	[例] 明の皇帝である。在位したのは15世紀初めである。当初は北平（北京）を本拠とする燕王であった。南京で即位し明の初代皇帝となった洪武帝（朱元璋）の死後，帝位を継いだ建文帝が諸王の勢力削減をはかるのに対抗し，挙兵する（靖難の役）。南京を占領して永楽帝となった。彼は，北京に遷都し，みずから軍を率いて元の帝室が逃げたモンゴル高原に遠征した。ムスリムの宦官鄭和に命じ，インド洋からアフリカ沿岸までの大艦隊での遠征を数回おこなわせた。

3	[例] ロシア革命後に社会主義政権が社会主義革命を世界に広げる目的で創設した国際的な連帯組織。実際には社会主義革命がロシアから波及することはなかったが，それでもコミンテルンは世界中で労働運動や反植民地運動を活性化させた。
4	[例] ロシア革命後に社会主義政権が地主による土地の私的所有を廃止し，農民に均等分配したもの。革命に対する農民の支持を得るための方策であった。